

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
サウンド基礎											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小林			実務 経験	有	職種	レコーディングエンジニア				
授業概要											
音という現象と音響関連の用語やその理解を目的とします。											
到達目標											
先ずは音が空気という媒質を使ってどのように人間の耳に到達するか、そして人間にとっての音と、機械によって測定される音との違いを理解し様々な音の種類についても学ぶ。現象だけではなく、音に関する単位や様々な基本的な数値についてもしっかりと記憶し、プロフェッショナル・エンジニアとしての知識を修得する。											
授業方法											
教科書資料の使用、音声データや映像、音響資料を用いたオンデマンド形式の授業である。レポートへの記入を義務付け授業内での疑問や仮説を発言する機会を設ける。前回までの各項目を理解した上での次項目へ繋がるため、復習も随時行いながら進行する。復習や仮説においては各自の発言の機会もあるので、積極的な参加が望ましい。											
成績評価方法											
期末試験と課題内容によって評価する。											
履修上の注意											
オンデマンドによる受講は指定された期日内に行い、直ちにレポートを提出（入力）する必要があります。通信環境上の不具合が生じている場合は直ちに担任と相談すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
音響映像設備マニュアル（2019年改訂版）											
回数	授業計画										
第1回	発声の仕組み・聴覚の仕組み										
第2回	音の3要素と可聴範囲										
第3回	音の現象（音速・屈折・反射・回折・干渉・ドップラー効果）①										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
音響芸術科	
サウンド基礎	
第4回	音の現象（音速・屈折・反射・回折・干渉・ドップラー効果）②
第5回	d Bについて・残響時間・定在波、フラッターエコー
第6回	定位とステレオシステム
第7回	マスキング・メーターの種類
第8回	音響機器の性能、カタログスペックの読み方
第9回	マイクロフォンの仕組みと種類
第10回	スピーカーの仕組みと種類
第11回	アナログとデジタル・AD/DAについて
第12回	スタジオの構造
第13回	スタジオの種類とスタッフ
第14回	録音の歴史～磁気録音とマルチトラック
第15回	前期期末試験対策